

日本百名山

標高1377m

伊吹山 Mt. IBUKI



山頂の花畑・3合目ユウシュク群落

登山MAP

等高線入り

イメージキャラクター
白猪イブちゃん



入山協力金の
詳細はこちら↑

伊吹山観光振興会・米原観光協会

【米原市見どころ案内】

歴史

- ① 京極氏館跡（上平寺）
- ② 清瀧寺徳源院（清滝）
- ③ 蓮華寺（番場）
- ④ 青岸寺（米原）

遊ぶ

- ⑤ グリーンパーク山東
- ⑥ 醒井養鱈場

自然

- ⑦ 泉神社湧水（大清水）
- ⑧ 居醒の清水（醒井）

買う

- ⑨ 醒井水の宿駅
- ⑩ 近江母の郷（世継）
- ⑪ 伊吹そば・伊吹牛乳

伊吹山アクセスマップ



- A 伊吹山文化資料館
- B 伊吹薬草の里文化センター
- C 道の駅伊吹の里 旬彩の森

アクセス 車利用：北陸自動車道米原IC・長浜IC、名神高速道路関ヶ原ICから登山口まで約20分

鉄道利用：JR東海道本線近江長岡駅から湖国バス「伊吹登山口行」もしくは「甲津原行」で伊吹登山口下車

緊急連絡 米原警察署 ☎ 0749-52-0110 米原消防署 ☎ 0749-55-0108 米原市役所商工観光課 ☎ 0749-58-2227

発行：伊吹山観光振興会 滋賀県米原市上野1047（上野会館内 ☎ 0749-58-0412）

伊吹山の歴史・人とのかわり

伊吹山への信仰 伊吹山麓には、たくさんの縄文遺跡があります。約4,000年前の縄文時代なかごころから、伊吹山の水と山の恵みをよりどころに集落が営まれました。山麓の遺跡からは、子孫繁栄や豊稔をまつる石器（石棒）が、たくさん見つかっています。これは、伊吹山に対する原始信仰の道具です。山頂からも14点の石の矢じりが見つかっています。すでに山に登った縄文人がいたようです。

伊吹の神は、英雄日本武尊（ヤマトタケルノミコト）を退け、死に至らしめた「荒ぶる神」として『古事記』に登場します。タケルは荒ぶる神を鎮めるために素手で伊吹山にきました。山中で神の化身「白猪」と出会い、これを神の使いとみたタケルは挑発的な言葉を吐きます。怒った伊吹山の神は、タケルを打ち惑わせ、この傷がもとで亡くなってしまいます。『日本書紀』では「大蛇」が伊吹山の神の化身です。猪や大蛇は、古来みのりをもたらす神とされ、伊吹山の神は、山麓の田畑を潤す「水の神」です。

伊吹山は平安時代に日本の「七高山」のひとつに数えられました。9世紀のなかごころには、山中に伊吹山寺が建てられ、のちに発展して弥高寺・太平寺・観音寺・長尾寺の伊吹山四ヶ寺となり、伊吹山信仰の拠点になりました。

この伊吹山信仰に関連する神社として、伊吹大神をまつる伊夫岐神社（伊吹）と、登山口の三之宮神社（上野）があります。かつての伊吹山の修行の道も、三之宮神社から始まっていました。一説には、山頂の弥勒堂を一之宮（上宮）、磐座がある2合目のシャクシの森が二之宮（中宮）とされます。江戸時代には全国にたくさんの仏像をのこした円空が7合目の平等岩で修行し、槍ヶ岳開山で有名な播隆も伊吹山で修行をしました。

雨乞いのために江戸時代の農民がはじめた太鼓踊りは、山麓の多くの村々で踊られていました。登山口上野の太鼓踊りは、かつて伊吹山中の寺社や洞窟などに願いをかけ、山頂弥勒堂前で松明を焚いて降雨を祈りました。太鼓踊りは、北近江全域から西美濃地方に集中して分布し、その中心には伊吹山があります。このことも、伊吹山の神が水の神であること物語っています。

薬草と山野草の利用 伊吹山は古くから薬草の山として知られ、自生する植物約1,300種のうちおよそ280種が薬用植物です。かつて山麓の人々は薬草に親しんで生活し、採取して出荷し、栽培に取り組んできました。とくにオオヨモギを原料とする伊吹もぐさは古代以来の医薬品です。

山麓から山頂にかけての滋賀県側斜面では、地元の人たちによって田畑の肥料や農耕用の牛の飼料のための草刈りが江戸時代の中ごろから昭和30年代までおこなわれました。刈取った草は、山で干草にし、組み立て式の草ぞり「シュラ」や背駄でおろしました。草刈りは夏の盆の頃おこなわれ、この作業によって低木の育生が抑えられ、美しいお花畑が全山に広がっていました。もちろん、厳しい自然環境もお花畑維持の要因ですが、伊吹山の自然は、人の手が加わって維持されてきたといえます。



山の神仏を祀る弥勒堂



ヤマトタケル遺跡の地（3合目）



平等岩

■ 伊吹山文化資料館 A

伊吹山の自然や歴史、人との関わりなどを展示。事前学習や登山のあとにお立ち寄りください。 ■米原市春照77 ☎0749-58-0252 ■休館日/毎週月曜日と祝日の翌日 ■料金/一般200円、小中生100円

■ 伊吹薬草の里文化センター B

登山のあと、ゆっくりお風呂はいかがですか。 ■米原市春照37 ☎0749-58-0105 ■休館日/月曜日（※祝日の場合は翌日） ■時間/12:30~19:30（受付は19:15まで） ■料金/大人500円、小学生以下250円

■ 道の駅伊吹の里 旬彩の森 C

■米原市伊吹1732-1 ☎0749-58-0390 ■無休（1~3月は木曜定休）

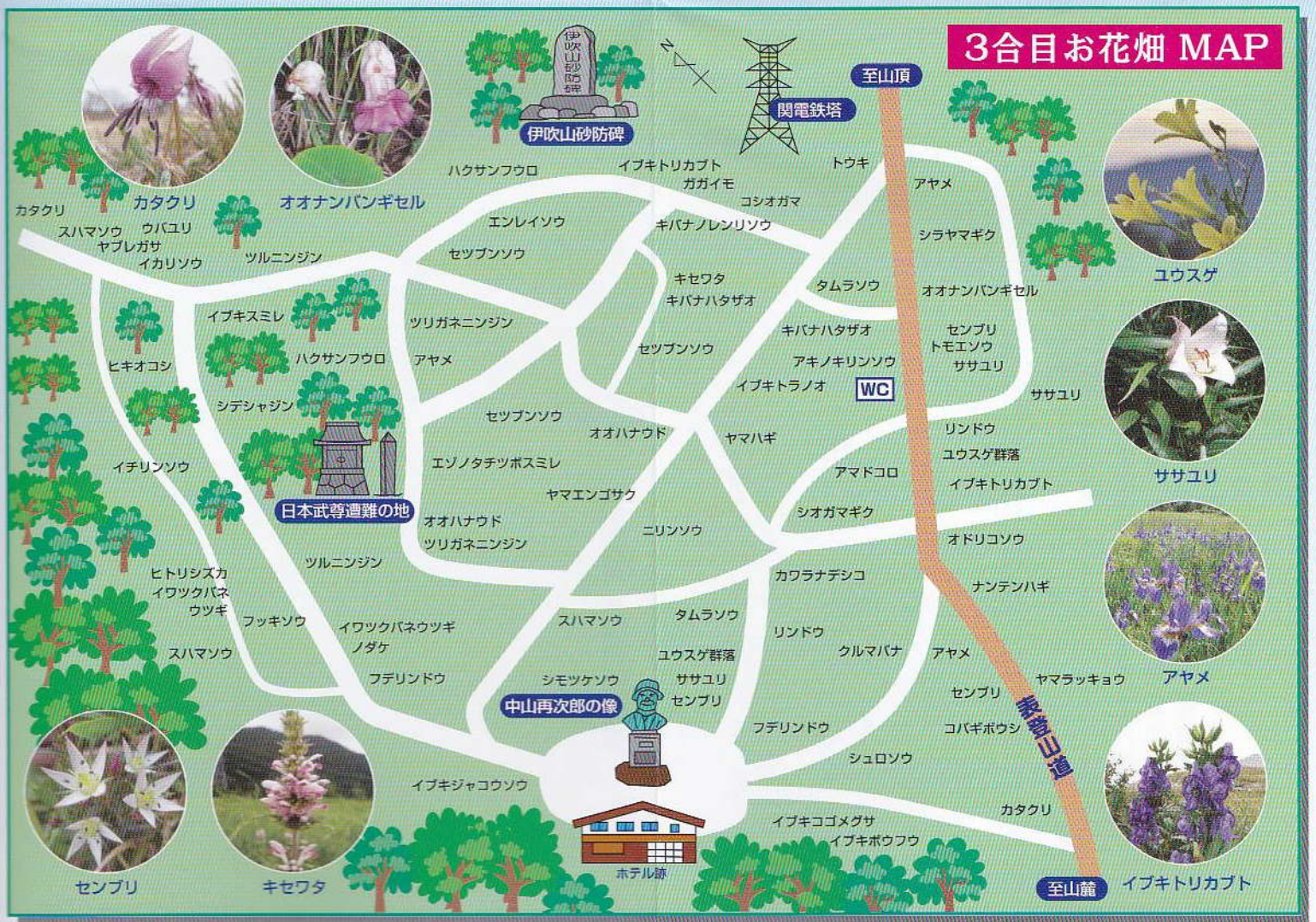


伊吹山文化資料館

山頂お花畑 MAP



3合目お花畑 MAP



伊吹山登山案内

表示の時間は、全て目安の時間です。



登山コースの紹介

- **表登山道**
標高差約1,200mあります。平均 往復7~8時間必要です。
- **弥高尾根道**
弥高寺跡を経て5合目まで2~3時間
- **上平寺尾根道**
上平寺城跡を経て5合目まで2.5~3時間
※上野・弥高・上平寺を結ぶ公共交通機関はありません。
- **笹又登山道**
静馬が原まで2~2.5時間
- **北尾根コース**
静馬が原~国見峠 片道3.5~4時間

※表登山道以外は道標など整備されていません!
経験者向けのコースです。

※野生動物生息区域につき、熊鈴などの携帯をおすすめします。

滋賀県

岐阜県

至国見峠

北尾根コース

笹又登山道

静馬が原

Start

笹又

伊吹山ドライブウェイ

東登山道

伊吹山

天然記念物伊吹山頂草原植物群落

頂上1,377m

一等三角点

※このあたり急坂

8合目

標高1220m

ヒメポタル発生地

立等岩

伊吹山ルール

1. お花畑への立ち入り禁止。植物、昆虫なども採集禁止
2. ペットの同伴はご遠慮ください。生態系に重大な影響を与えます。
3. ゴミ箱は有りません。全てお持ち帰りください。
4. 山頂一帯は禁煙です。
5. トイレの維持に多額の費用が必要です。
ご利用の際には100円の環境協力金をお願い致します。



登山の心得

1. 登山道のみみ出し禁止。植物を踏みつけ裸地が広がってます。
2. 雨具、防寒具、ヘッドライト、非常食など十分な装備を用意してください。伊吹山に水場は有りません。特に夏場は充分な量をお持ちください。
3. 日陰は余り有りません。熱中症に注意してください。
4. 体調管理をして、無理をせず引き返しましょう。
5. 山頂一帯はキャンプ禁止です。